

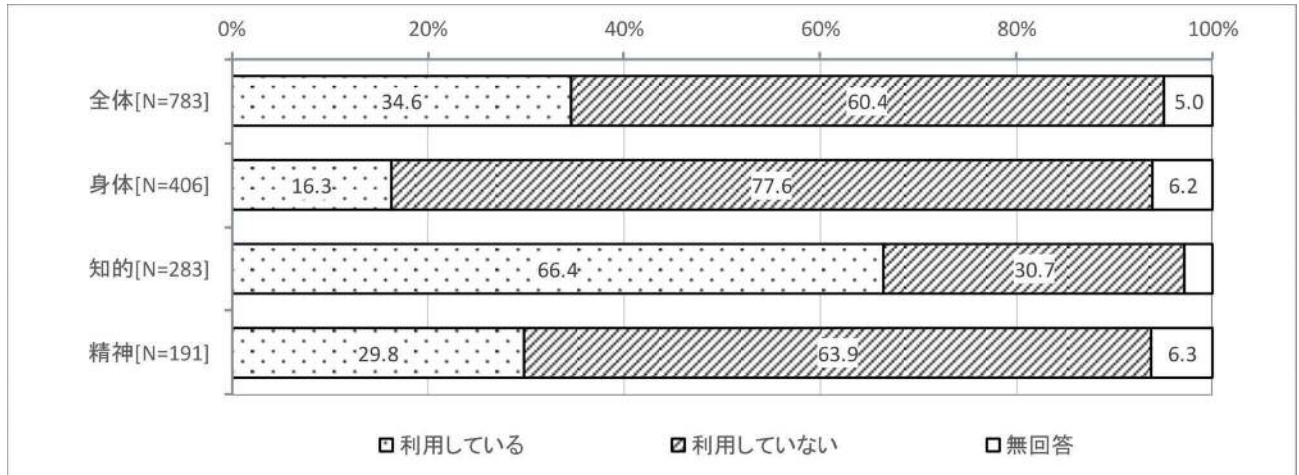
(7) 障がい福祉サービスについて

① 障がい福祉サービスの利用有無・支援区分

障がい福祉サービスは、「利用している」人が34.6%、「利用していない」人は60.4%となっています。

身体障がいのある人の利用率は低く、知的障がいのある人の利用率は高くなっています。

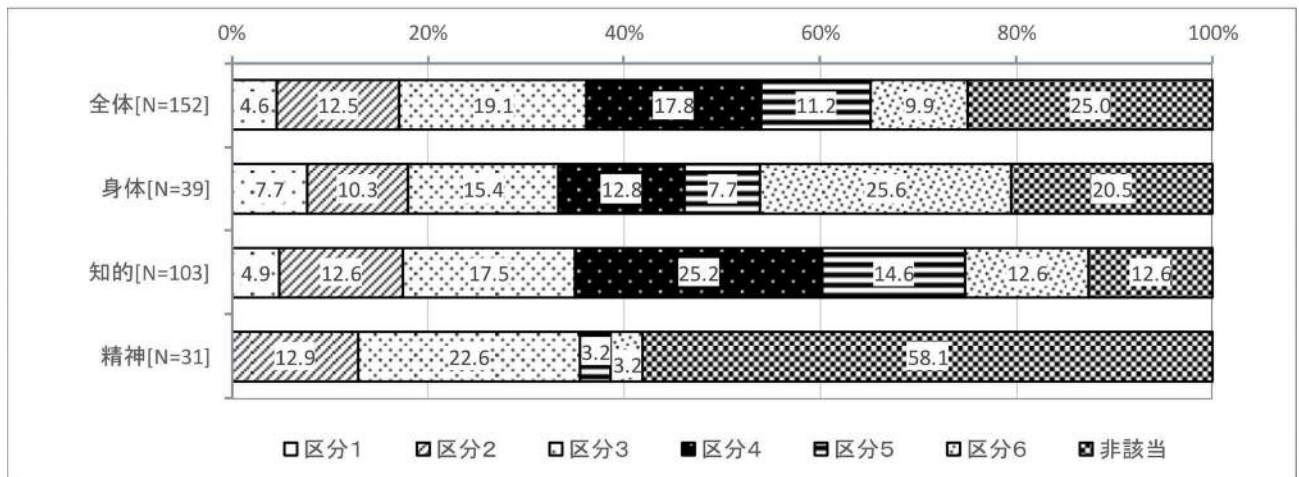
図表 68 障がい福祉サービスの利用有無[N=783]



障がい支援区分は、「非該当」(区分の認定を「受けていない」)が25.0%となっています。認定を受けている人では、「区分3」が19.1%、「区分4」が17.8%となっています。

※障がい支援区分は無回答が多いため、無回答を除いて集計しています。

図表 69 障がい支援区分[N=271]



※無回答を除いて集計

計

② 現在利用しているサービス

現在利用しているサービスは、「計画相談支援」が38.0%、「移動支援事業」が25.8%、「放課後等デイサービス」19.9%、「短期入所（ショートステイ）」が18.1%となっています。

身体障がいのある人は「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が高くなっています。

図表 70 現在利用しているサービス[N=271]（複数回答）

	全体	身体	知的	精神
N=	271	66	188	57
居宅介護(ホームヘルプ)	12.2	27.3	9.6	17.5
重度訪問介護	0.7	1.5	0.5	1.8
同行援護	3.7	6.1	2.7	3.5
行動援護	1.8	1.5	1.6	3.5
重度障害者等包括支援	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所(ショートステイ)	18.1	21.2	23.4	3.5
療養介護	1.5	3.0	1.6	0.0
生活介護	10.3	7.6	14.4	1.8
施設入所支援	3.3	9.1	2.7	1.8
自立生活援助	1.1	1.5	1.6	0.0
共同生活援助(グループホーム)	7.4	4.5	9.6	3.5
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	4.4	6.1	4.8	5.3
就労移行支援	4.4	0.0	3.2	10.5
就労継続支援[A型:雇用型]	6.6	6.1	3.7	14.0
就労継続支援[B型:非雇用型]	16.6	18.2	15.4	24.6
就労定着支援	1.5	0.0	0.0	7.0
児童発達支援	7.4	3.0	9.6	0.0
放課後等デイサービス	19.9	7.6	27.1	1.8
保育所等訪問支援	5.5	3.0	7.4	0.0
居宅訪問型児童発達支援	0.0	0.0	0.0	0.0
医療型児童発達支援	0.4	0.0	0.5	0.0
地域移行・地域定着支援	0.4	0.0	0.5	0.0
計画相談支援	38.0	25.8	43.6	28.1
障害児相談支援	6.6	3.0	8.5	1.8
意思疎通支援	0.4	1.5	0.0	0.0
移動支援事業	25.8	22.7	34.0	3.5
地域活動支援センター	8.1	10.6	5.9	17.5
日中一時支援事業	16.2	6.1	22.3	1.8
無回答	4.1	12.1	2.7	1.8

18～39歳は「計画相談支援」「移動支援事業」「短期入所（ショートステイ）」、40～59歳は「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」の割合が高くなっています。

17歳以下では、「放課後等デイサービス」が72.0%と最も高く、次いで「計画相談支援」38.7%、「児童発達支援事業」26.7%の順となっています。

図表 71 現在利用しているサービス[N=271]（複数回答）

	全体	17歳以下	18～39歳	40～59歳	60歳以上
N=	271	75	94	85	10
居宅介護（ホームヘルプ）	12.2	1.3	10.6	23.5	10.0
重度訪問介護	0.7		1.1	1.2	0.0
同行援護	3.7	0.0	2.1	7.1	10.0
行動援護	1.8	0.0	2.1	2.4	10.0
重度障害者等包括支援	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所（ショートステイ）	18.1	2.7	36.2	12.9	0.0
療養介護	1.5		3.2	0.0	10.0
生活介護	10.3		20.2	9.4	0.0
施設入所支援	3.3		1.1	9.4	0.0
自立生活援助	1.1		2.1	1.2	0.0
共同生活援助（グループホーム）	7.4		9.6	10.6	10.0
自立訓練（機能訓練・生活訓練）	4.4		7.4	4.7	10.0
就労移行支援	4.4		10.6	2.4	0.0
就労継続支援[A型：雇用型]	6.6		7.4	12.9	0.0
就労継続支援[B型：非雇用型]	16.6		21.3	28.2	0.0
就労定着支援	1.5		2.1	2.4	0.0
児童発達支援	7.4	26.7			
放課後等デイサービス	19.9	72.0			
保育所等訪問支援	5.5	20.0			
居宅訪問型児童発達支援	0.0	0.0			
医療型児童発達支援	0.4	1.3			
地域移行・地域定着支援	0.4		0.0	1.2	0.0
計画相談支援	38.0	38.7	52.1	25.9	10.0
障害児相談支援	6.6	24.0	0.0	0.0	0.0
意思疎通支援	0.4		0.0	1.2	0.0
移動支援事業	25.8	10.7	46.8	15.3	20.0
地域活動支援センター	8.1		12.8	9.4	10.0
日中一時支援事業	16.2	28.0	24.5	0.0	0.0
無回答	4.1	4.0	1.1	2.4	40.0

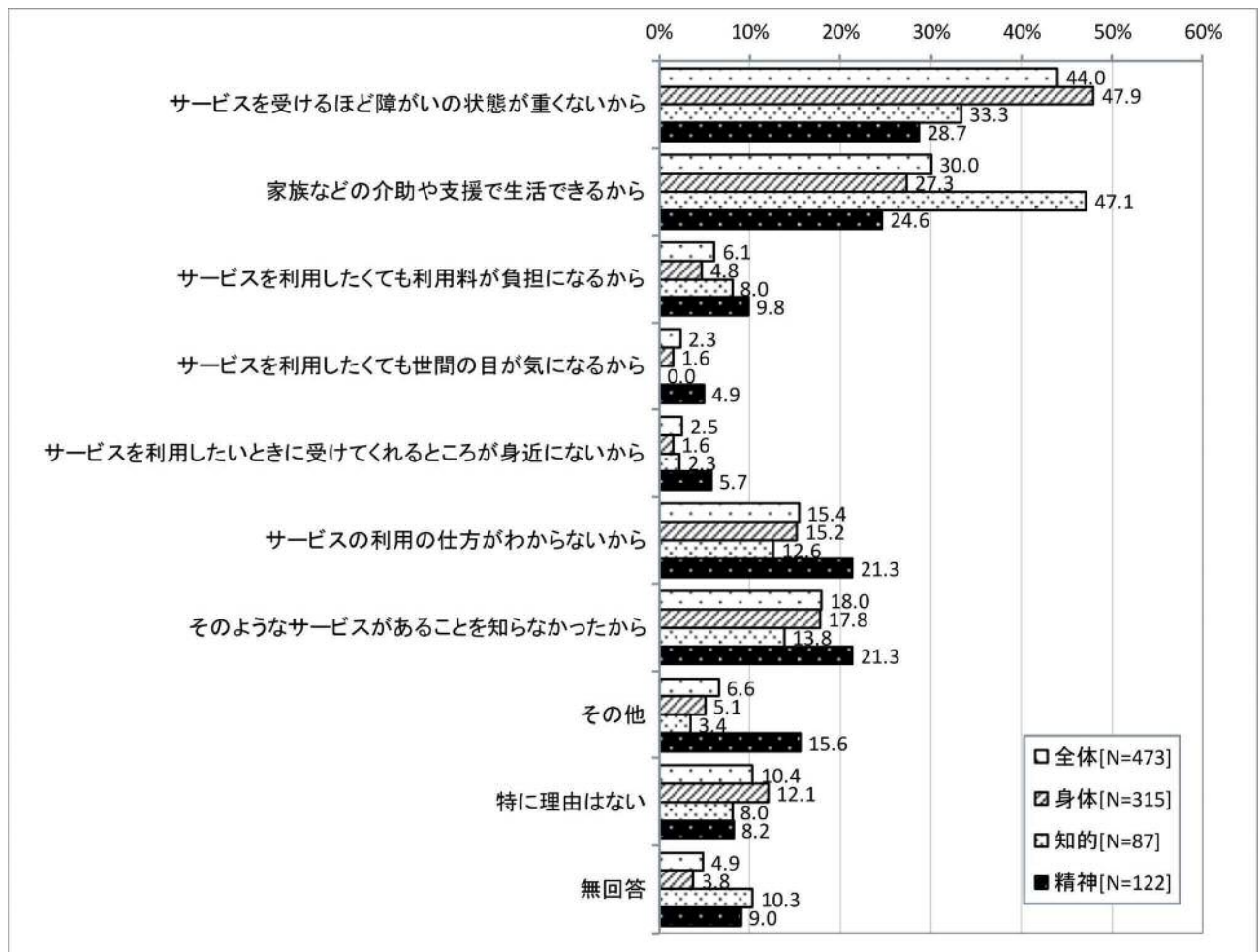
③ 障がい福祉サービス等を利用していない理由

障がい福祉サービス等を利用していない理由は、「サービスを受けるほど障がいの状態が重くないから」が44.0%、「家族などの介助や支援で生活できるから」が30.0%、「そのようなサービスがあることを知らなかったから」が18.0%となっています。

知的障がいのある人は「家族などの介助や支援で生活できるから」の割合が高くなっています。

精神障がいのある人は「サービスの利用の仕方がわからないから」「そのようなサービスがあることを知らなかったから」の割合が高くなっています。

図表 72 障がい福祉サービス等を利用していない理由[N=473]（複数回答）



④ 今後3年以内に利用したいサービス

現在は利用していないが今後3年以内に利用したいサービスは、「就労継続支援A型」が8.0%、「就労移行支援」が6.4%、「就労定着支援」が5.9%となっています。

図表 73 今後3年以内に利用したいサービス[N=783] (複数回答)

	全体	身体	知的	精神
N=	783	406	283	191
居宅介護(ホームヘルプ)	3.8	3.2	2.5	6.3
重度訪問介護	1.0	1.0	1.4	0.5
同行援護	3.7	5.7	3.5	2.6
行動援護	5.4	4.4	9.5	4.2
重度障害者等包括支援	0.9	1.2	1.4	0.5
短期入所(ショートステイ)	5.4	3.2	11.7	2.1
療養介護	1.3	1.5	1.4	1.0
生活介護	4.9	5.4	4.2	6.3
施設入所支援	2.2	1.7	2.8	3.1
自立生活援助	5.6	4.2	5.3	10.5
共同生活援助(グループホーム)	5.1	2.0	11.0	3.7
自立訓練(機能訓練・生活訓練)	5.2	4.2	5.3	6.8
就労移行支援	6.4	3.9	5.3	13.1
就労継続支援[A型:雇用型]	8.0	6.2	5.3	15.2
就労継続支援[B型:非雇用型]	3.7	1.2	5.3	5.2
就労定着支援	5.9	2.5	5.3	12.0
児童発達支援	1.0	0.2	2.5	0.0
放課後等デイサービス	3.7	1.2	8.8	0.0
保育所等訪問支援	1.9	0.7	4.6	0.0
居宅訪問型児童発達支援	0.5	0.2	1.1	0.0
医療型児童発達支援	0.1	0.0	0.4	0.0
地域移行・地域定着支援	1.4	1.2	0.7	2.6
計画相談支援	4.2	3.2	5.3	4.7
障害児相談支援	1.8	1.0	3.5	0.0
意思疎通支援	3.1	3.0	3.9	2.6
移動支援事業	4.2	2.7	8.1	1.6
地域活動支援センター	3.7	3.2	2.1	6.3
日中一時支援事業	4.5	3.7	6.7	3.7
無回答	52.2	62.3	38.2	49.7

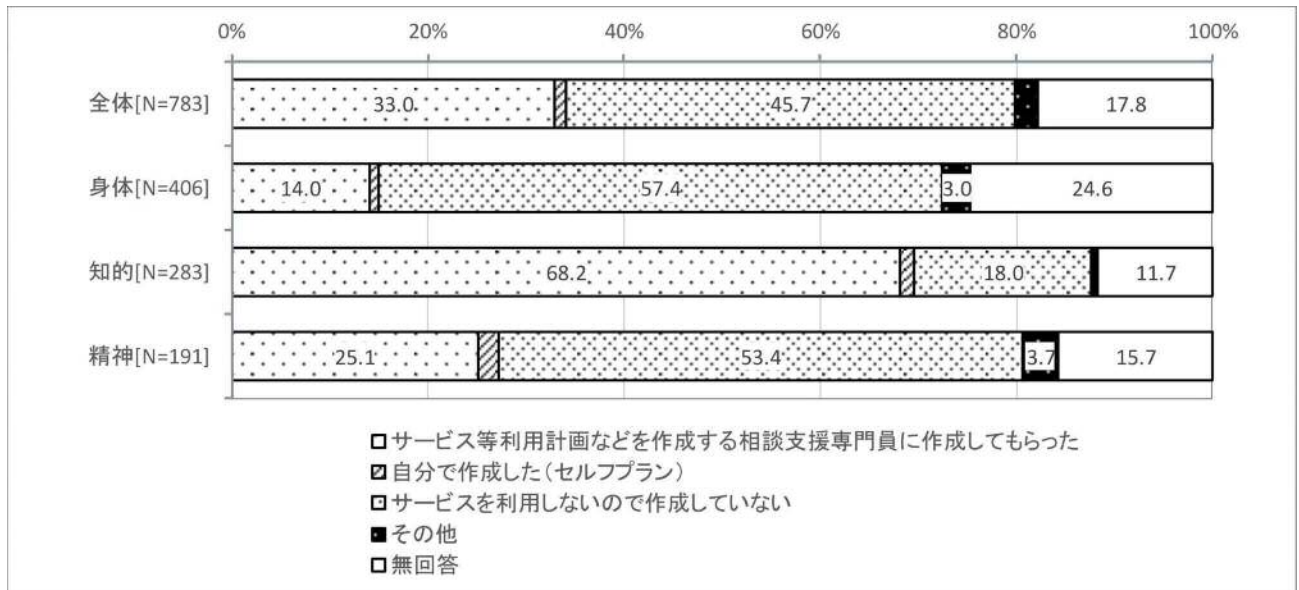
⑤ サービス等利用計画※などの作成

サービス等利用計画などを作成しているかについては、「サービスを利用していないので作成していない」が45.7%、「サービス等利用計画などを作成する相談支援専門員に作成してもらった」が33.0%となっています。

身体障がいのある人と精神障がいのある人は「サービスを利用しないので作成していない」、知的障がいのある人は「サービス等利用計画などを作成する相談支援専門員に作成してもらった」の割合が高くなっています。

※障がいのある人や児童が希望する生活を実現するために、相談支援専門員が障がい福祉サービス等の提案・調整を行い作成する計画のこと

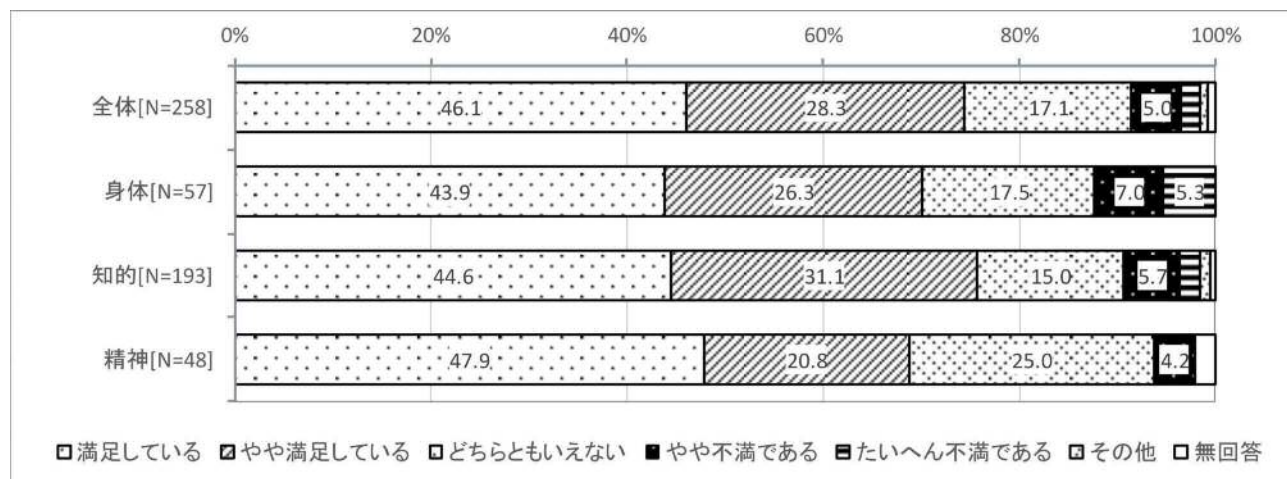
図表 74 サービス等利用計画などの作成[N=783]



⑥ サービス等利用計画などの作成によるサービス利用などの満足度

サービス等利用計画などの作成によるサービス利用や生活状況などの満足度は、「満足している」(46.1%)、「やや満足している」(28.3%)を合わせると、7割強が満足していると回答しています。

図表 75 サービス等利用計画などの作成によるサービス利用などの満足度[N=258]

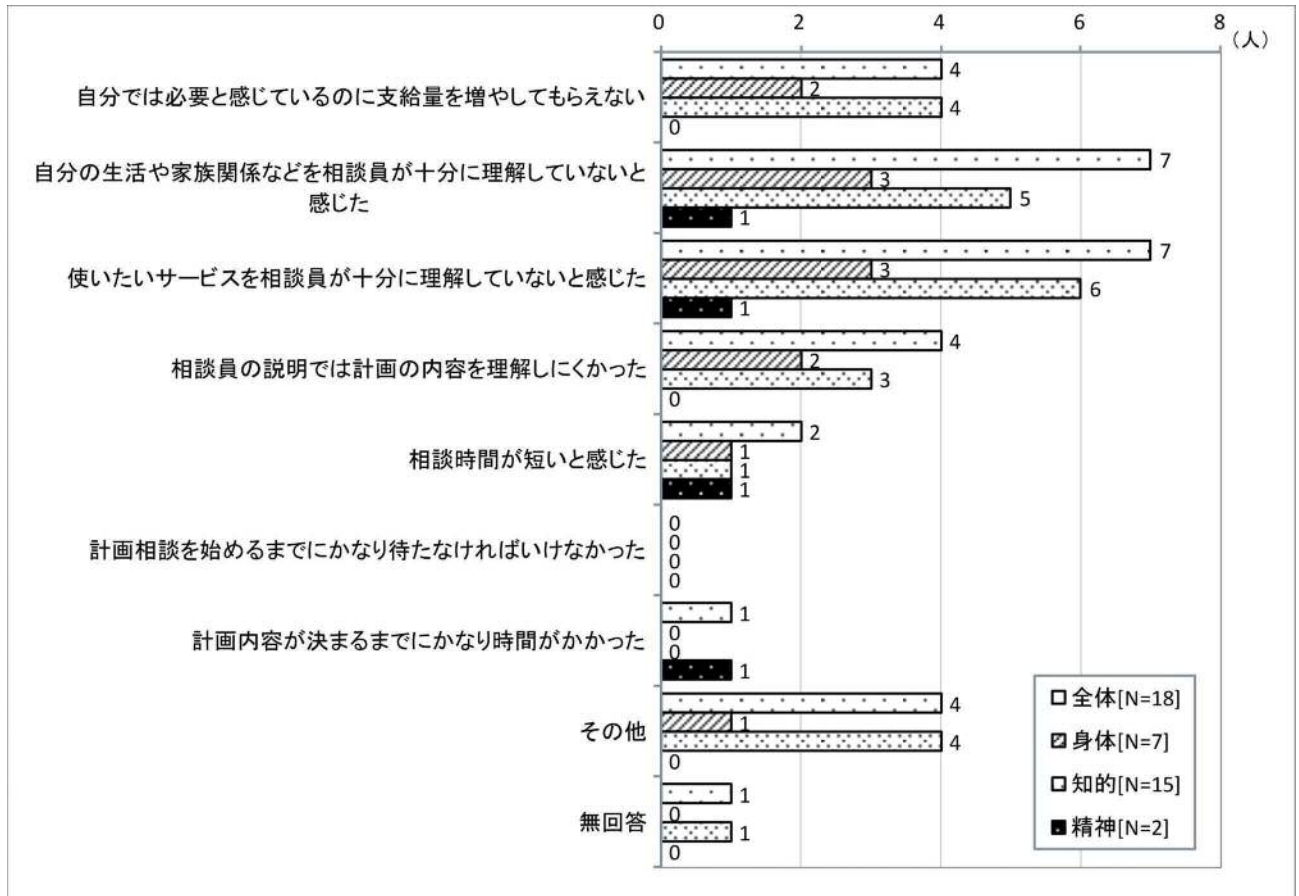


⑦ サービス等利用計画などの作成によるサービス利用などを不満に思っている理由

※サンプル数が少ないため、実数表記

サービス等利用計画などの作成によるサービス利用などを不満に思っている理由は、「自分の生活や家族関係などを相談員が十分に理解していないと感じた」「使いたいサービスを相談員が十分に理解していないと感じた」がそれぞれ7人、「自分では必要と感じているのに支給量を増やしてもらえない」「相談員の説明では計画の内容を理解しにくかった」がそれぞれ4人となっています。

図表 76 サービス等利用計画などの作成によるサービス利用などを不満に思っている理由[N=18]（複数回答）



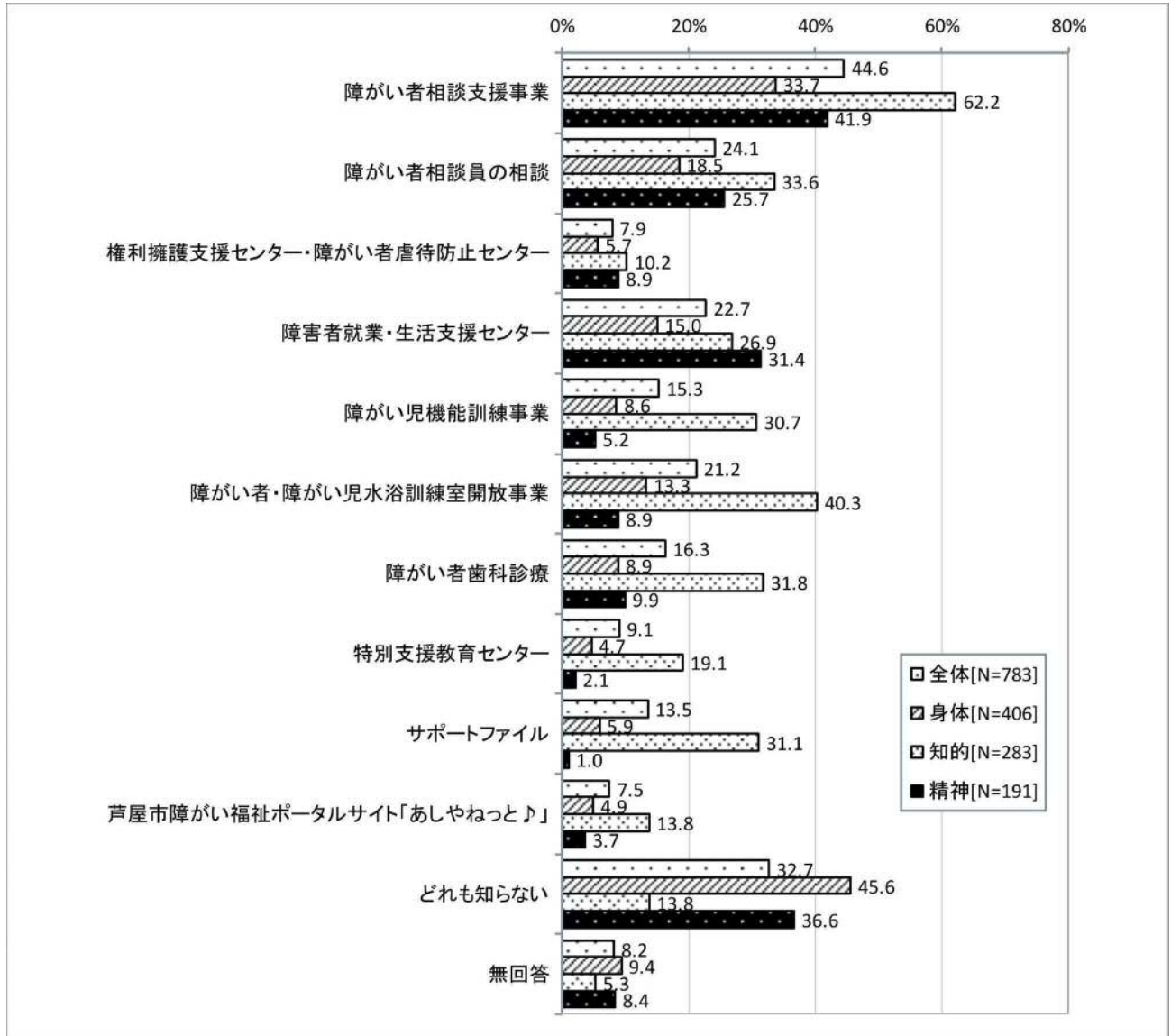
⑧ 市の窓口・機関・事業等の認知

市の窓口・機関・事業等の認知状況は、「障がい者相談支援事業」が44.6%、「どれも知らない」が32.7%、「障がい者相談員*の相談」が24.1%となっています。

知的障がいのある人は各項目とも他の障がい種別より認知度が高くなっています。一方、身体障がいのある人は「どれも知らない」の割合が高くなっています。

※障がいのある人やその家庭における問題について、地域での相談・助言・指導などを行っている相談員のこと

図表 77 市の窓口・機関・事業等の認知[N=783]（複数回答）



前回調査と比較すると、知的障がいのある人は、「障がい者相談支援事業」「サポートファイル」の割合が高くなっています。一方、精神障がいのある人は、「障がい者相談支援事業」の割合が低くなっています。

図表 78 市の窓口・機関・事業等の認知（複数回答）（前回調査との比較）

	身体		知的		精神	
	平成 28年度	令和 元年度	平成 28年度	令和 元年度	平成 28年度	令和 元年度
N=	429	406	266	283	159	191
障がい者相談支援事業	37.3	33.7	56.8	62.2	55.3	41.9
障がい者相談員の相談	18.4	18.5	29.3	33.6	29.6	25.7
権利擁護支援センター・障がい者虐待防止センター	5.8	5.7	14.7	10.2	8.8	8.9
障害者就業・生活支援センター	14.9	15.0	25.6	26.9	27.7	31.4
障がい児機能訓練事業	8.2	8.6	26.3	30.7	5.0	5.2
障がい者・障がい児水浴訓練室開放事業	12.1	13.3	36.1	40.3	9.4	8.9
障がい者歯科診療	9.3	8.9	34.6	31.8	7.5	9.9
特別支援教育センター※		4.7		19.1		2.1
サポートファイル	4.4	5.9	24.8	31.1	0.0	1.0
芦屋市障がい福祉ポータルサイト『あしやねっと♪』※		4.9		13.8		3.7
どれも知らない	45.7	45.6	18.4	13.8	33.3	36.6
無回答	8.4	9.4	7.1	5.3	7.5	8.4

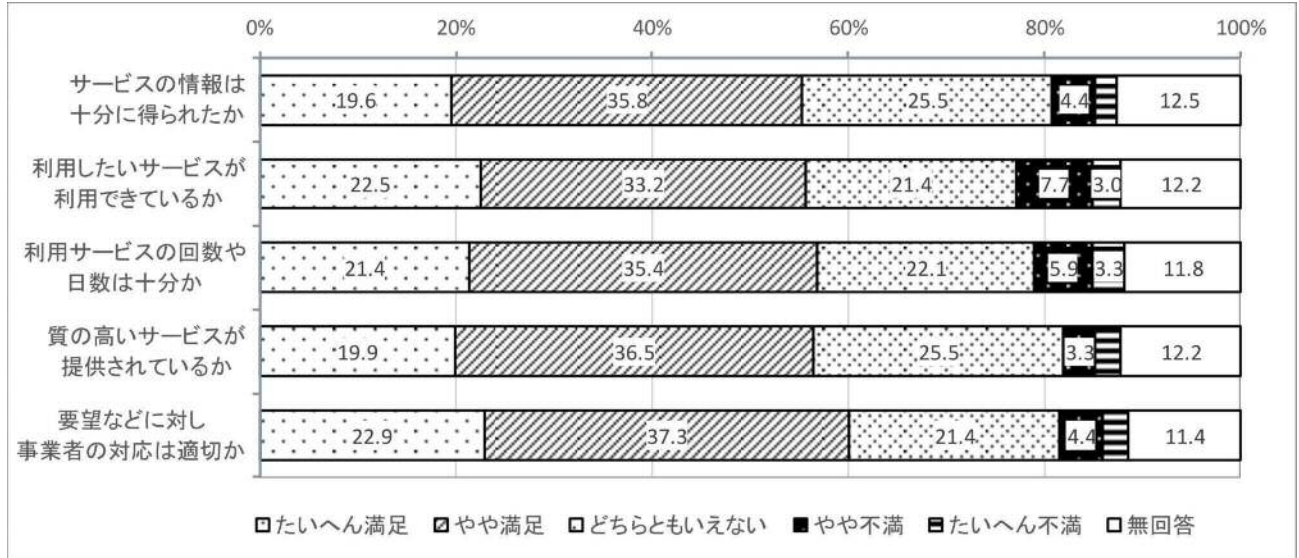
※「特別支援教育センター」「芦屋市障がい福祉ポータルサイト『あしやねっと♪』」は前回調査には含まれていない

⑨ サービスの内容や事業者の対応などの満足度

サービスの内容や事業者の対応などの満足度については、いずれの評価項目についても「やや満足」の割合が高くなっています。

身体障がいのある人は、いずれの評価項目についても「たいへん満足」「やや満足」を合計した割合（満足計）が低くなっています。

図表 79 サービスの内容や事業者の対応などの満足度[N=271]



図表 80 サービスの内容や事業者の対応などの満足度[N=271]

項目	N=	たいへん満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	たいへん不満	無回答	満足計	不満計	
サービスの情報は十分に得られたか	全体	271	19.6	35.8	25.5	4.4	2.2	12.5	55.4	6.6
	身体	66	21.2	22.7	28.8	4.5	0.0	22.7	43.9	4.5
	知的	188	18.1	37.8	26.1	5.3	1.6	11.2	55.9	6.9
	精神	57	21.1	35.1	31.6	1.8	5.3	5.3	56.1	7.0
利用したいサービスが利用できるか	全体	271	22.5	33.2	21.4	7.7	3.0	12.2	55.7	10.7
	身体	66	24.2	19.7	25.8	9.1	0.0	21.2	43.9	9.1
	知的	188	19.1	35.6	22.3	8.5	3.2	11.2	54.8	11.7
	精神	57	29.8	31.6	24.6	5.3	3.5	5.3	61.4	8.8
利用サービスの回数や日数は十分か	全体	271	21.4	35.4	22.1	5.9	3.3	11.8	56.8	9.2
	身体	66	22.7	27.3	24.2	4.5	1.5	19.7	50.0	6.1
	知的	188	19.7	37.8	21.3	6.4	3.7	11.2	57.4	10.1
	精神	57	29.8	31.6	28.1	3.5	3.5	3.5	61.4	7.0
質の高いサービスが提供されているか	全体	271	19.9	36.5	25.5	3.3	2.6	12.2	56.5	5.9
	身体	66	21.2	22.7	28.8	4.5	1.5	21.2	43.9	6.1
	知的	188	18.1	40.4	25.5	2.7	2.1	11.2	58.5	4.8
	精神	57	26.3	33.3	24.6	7.0	5.3	3.5	59.6	12.3
要望などに対し事業者の対応は適切か	全体	271	22.9	37.3	21.4	4.4	2.6	11.4	60.1	7.0
	身体	66	21.2	22.7	25.8	6.1	3.0	21.2	43.9	9.1
	知的	188	23.4	38.3	21.3	4.3	2.1	10.6	61.7	6.4
	精神	57	22.8	40.4	24.6	7.0	3.5	1.8	63.2	10.5

(8) 災害への備えについて

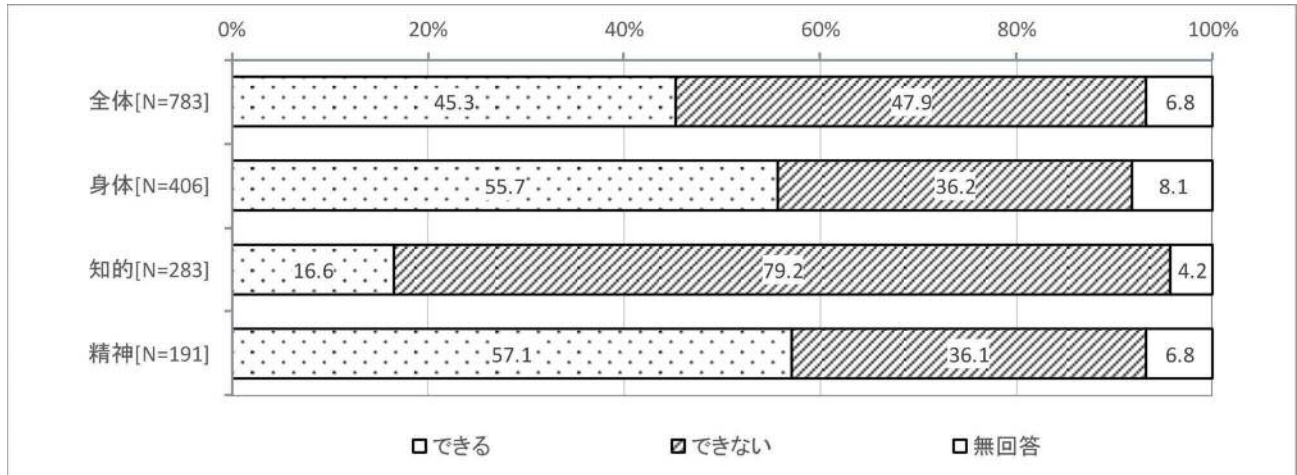
① 災害時や火災などの緊急時に一人で避難できるか

災害時や火災などの緊急時に一人で避難できるかについては、「できる」人が45.3%、「できない」人が47.9%となっています。

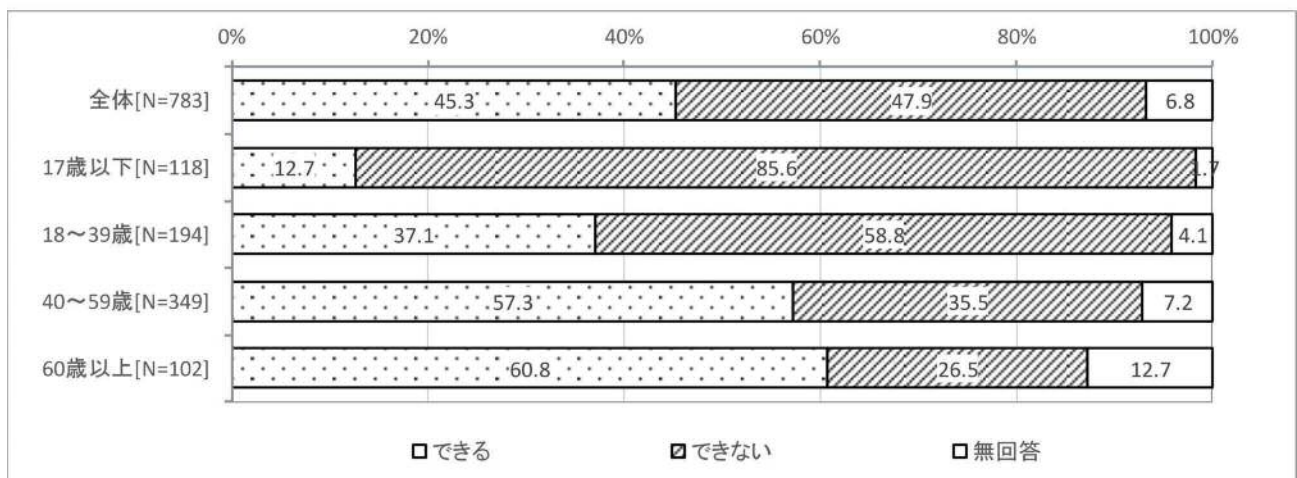
知的障がいのある人は「できない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、39歳以下は「できない」の割合が高くなっています。

図表 81 災害時や火災などの緊急時に一人で避難できるか[N=783]



図表 82 災害時や火災などの緊急時に一人で避難できるか[N=783]

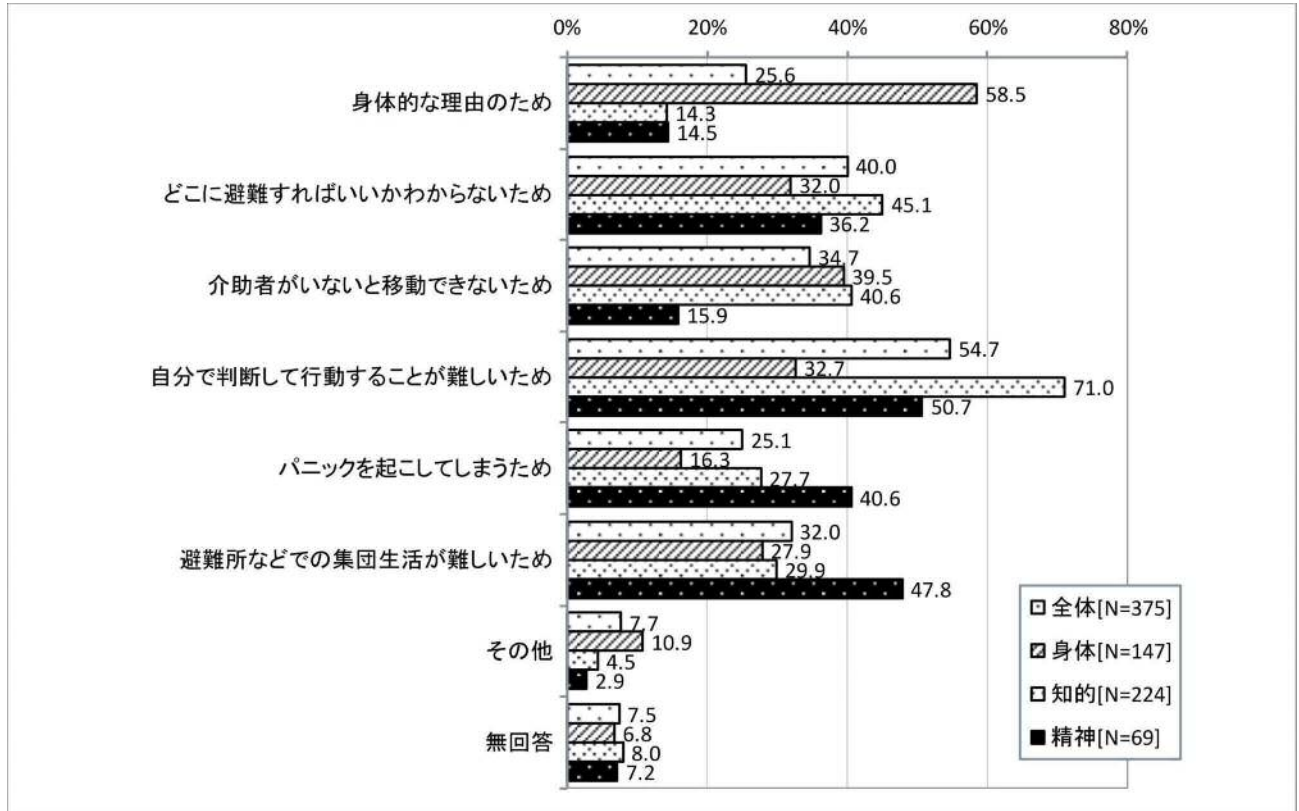


② 一人で避難できない理由

災害時や火災などの緊急時に一人で避難できない理由については、「自分で判断して行動することが難しいため」が54.7%、「どこに避難すればいいかわからないため」が40.0%、「介助者がいないと移動できないため」が34.7%となっています。

身体障がいのある人は「身体的な理由のため」、知的障がいのある人は「自分で判断して行動することが難しいため」、精神障がいのある人は「避難所などでの集団生活が難しいため」「パニックを起こしてしまうため」の割合が高くなっています。

図表 83 一人で避難できない理由[N=375]（複数回答）

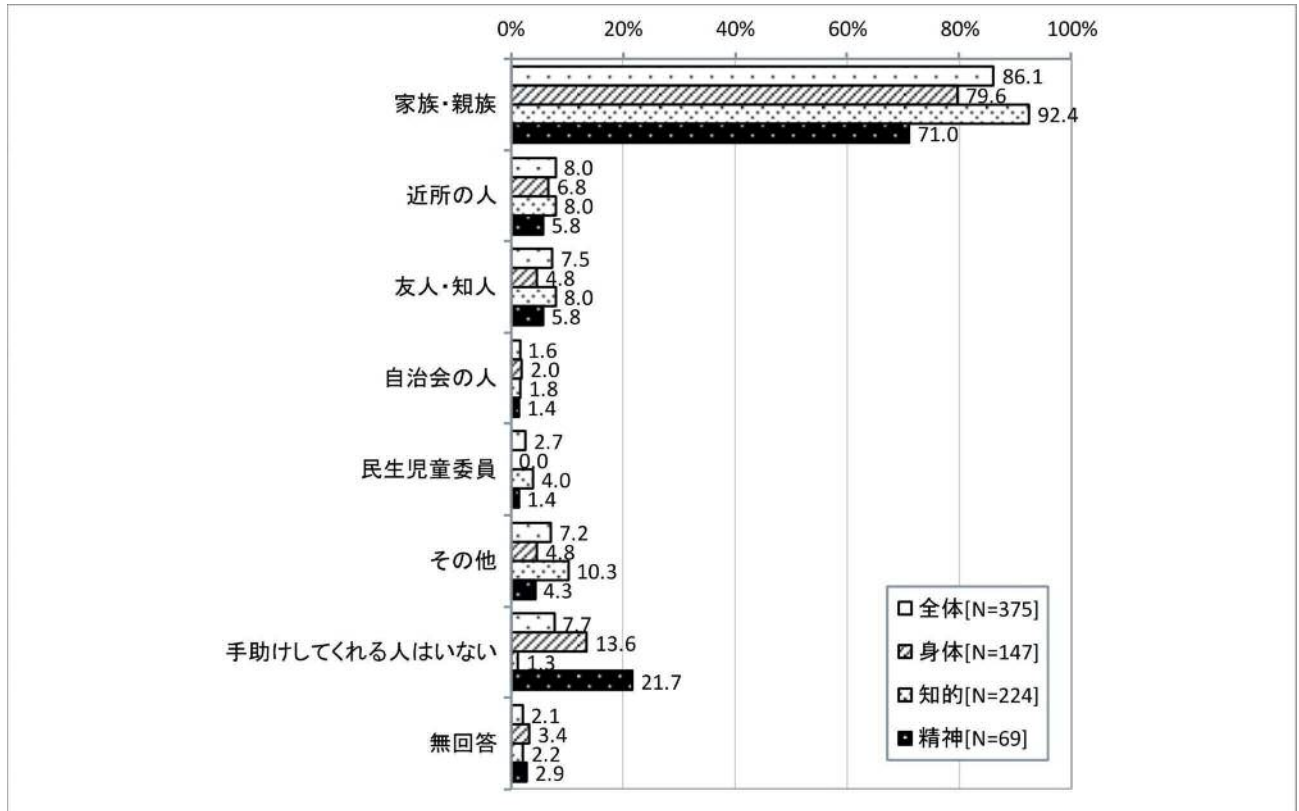


③ 避難の際に手助けしてくれる人

避難の際に手助けしてくれる人については、「家族・親族」が86.1%、「近所の人」が8.0%、「友人・知人」が7.5%となっています。

精神障がいのある人は「手助けしてくれる人はいない」の割合が高くなっています。

図表 84 避難の際に手助けしてくれる人[N=375] (複数回答)

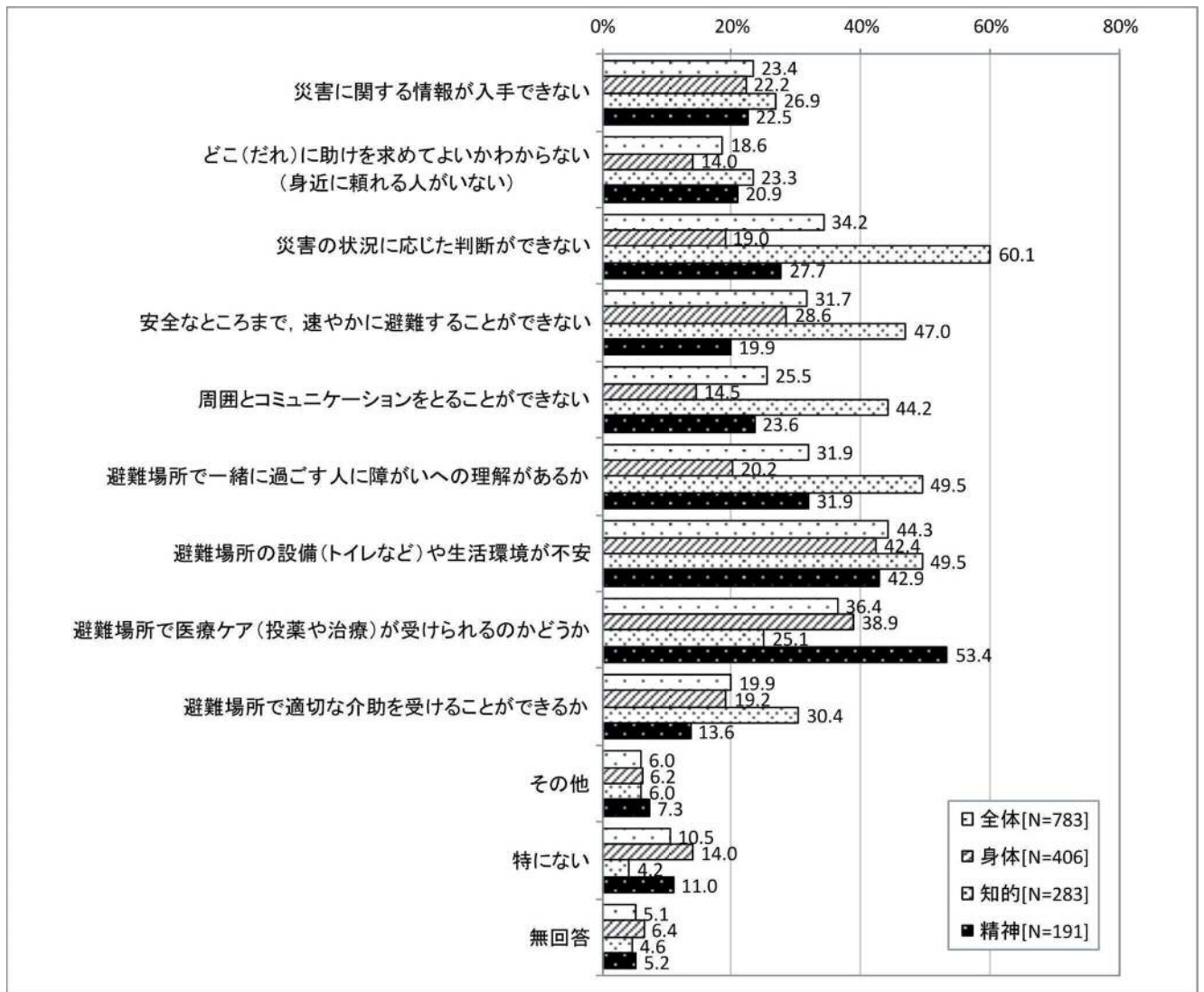


④ 災害時に不安なこと

災害時に不安なことは、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が44.3%、「避難場所で医療ケア（投薬や治療）が受けられるのかどうか」が36.4%「災害の状況に応じた判断ができない」が34.2%となっています。

知的障がいのある人は「災害の状況に応じた判断ができない」「避難場所で一緒に過ごす人に障がいへの理解があるか」「安全なところまで、速やかに避難することができない」「周囲とコミュニケーションをとることができない」、精神障がいのある人は「避難場所で医療ケア（投薬や治療）が受けられるのかどうか」の割合が高くなっています。

図表 85 災害時に不安なこと[N=783]（複数回答）



年齢別にみると、39歳以下では「災害の状況に応じた判断ができない」「避難場所で一緒に過ごす人に障がいへの理解があるか」「安全なところまで、速やかに避難することができない」「周囲とコミュニケーションをとることができない」、40～59歳では「避難場所で医療ケア（投薬や治療）が受けられるのかどうか」の割合が高くなっています。

図表 86 災害時に不安なこと[N=783]（複数回答）

